

2024年1月発行

人・まち・地球が好きだから「RERA」仲間この指とまれ

きたく RERA(リラ) Times VOL.3

NPO 法人北区リサイクラー活動機構

HP : www.kitakurecycler.or.jp

私たちは、SDGs 目標達成に向け、限りある地球資源を引き継いでいくため、地球環境の負荷を減らすライフスタイルへの転換をめざし、地域で行動していきます。



HP はこちら

明けましておめでとうございます。北区リサイクラー活動機構の「RERA(リラ)VOL. 3」です。皆さんと一緒にセカンドステージを創るため、今年も情報発信、頑張ります、どうぞよろしくお願い致します。

中身の濃かった「日帰りバス研修会」11月29日(水)

2023年11月29日(水)は、リサイクラー活動機構の日帰りバス研修でした。浮間の「五十嵐資源リサイクルセンター」と足立区の容器リサイクルの「トベ商事」を見学しました。見学に参加した岩崎好子さんが報告します。

今回の行き先は2か所、浮間にある生ごみのリサイクルを行う「五十嵐資源リサイクルセンター」、足立区入谷にあるびん・缶・ペットボトル・プラスチックのリサイクルを行う「トベ商事」です。どちらからもリサイクルに習熟された方の丁寧で詳細な説明を受けました。第一の見学先では給食の残渣(ざんざ)から肥料・飼料を製造して販売、全量消費されている過程を見学しました。

まずはセンター前に整然と並べられた専用収集容器に驚き。外国製とのことですが、汁がこぼれることもなく、外ににおいが全く出ません。次の驚きは土壌菌を活用して生ごみを発酵させて飼料・肥料化を行っていること。生ごみがサラサラした海岸の砂のようになってしまいました。まるで、魔法をかけたよう。最後の驚きはこうした肥料・飼料が販売されていること。生ごみが良質の有機肥料になってブランド名「練馬の大地」が付いて売られていました。すごい！（裏面に続く）



ゴミ一つ落ちていない清潔な工場内。米ぬかを混ぜて、高温で処理するため、臭いはいりません。苦情は一件もありません。



北区の小中学校の名前が書かれたフランス製の容器(90ℓ)には野菜くずが入っていました。



出来上がったサラサラした飼料や肥料は、動物の餌に混ぜたり、土に混ぜたりして使います。



実は、私たち北区リサイクル活動機構は“学校給食生ごみリサイクル”を30年前から実施していました。(1993年～2021年)。群馬県甘楽町で堆肥にしてもらい、その有機肥料で育った野菜をエコー広場館で販売していました。残念ながら諸般の事情で現在は中止になっています。その後、学校給食の生ごみはどうなったのだろうと、気になっていました。今回「五十嵐資源リサイクルセンター」が、5年前から北区の小中学校の給食残渣を引き取って、肥料にしていたことがわかりました。安心しました。

●五十嵐資源リサイクルセンター

学校給食などから発生する残渣を発酵処理し、肥料の原料に再生している。2008年に新プラントを立ち上げ、一般廃棄物処理施設では、東京都認可第1号です。北区浮間4-21-7

【報告】 11月2日(木)、第6回「北区資源循環推進審議会」(※)に出席しました。：小笹悦子理事長

※北区は、ごみの減量や分別、資源化の推進について検討し、「北区一般廃棄物処理基本計画2024」策定に反映させるため、学識経験者、区議会議員、区民、事業者などで構成する「北区資源循環推進審議会」を2年間にわたって開催している。

■アドレスは recycler3196@outlook.jp 皆さまからの提案をいつでもお待ちしております。

(表面より)

次の見学先トベ商事では、びん・缶・プラスチック等、どの廃棄物もまずは分別作業から。



北区のペットボトルは、この作業所に運ばれます。機械と人の手で異物が取り除かれ、高品質のPETフレークになります。

1回だけ使われるびん、何回も洗浄して使われるびん、スチール缶にアルミ缶、色々な形状の廃プラスチックを徹底した洗浄と異物の完全除去、破砕で、次の再生原料を作り出していきます。



「びん洗浄」作業所では、熱湯と苛性ソーダを使って自動洗浄しています。水圧でラベルも剥がれます。

びんの最終仕上げでは、人が目視していました。機械による流れ作業の最後に人が出てきてなぜかうれしい。全ては分別から始まる。それは私たちがゴミを廃棄するときの大事な行為であると教わったように思いました。



最後は、目視です。

ゴミにするか、資源にするか…少しでも資源にしたいと思いました。

(27名参加) 岩崎好子

- トベ商事 / 明治26年(1893)創業。廃棄物リサイクル業。PET ボトル・びん・缶資源化、びん洗浄、リサイクル、一般・産業廃棄物収集運搬など地域に根ざした循環型社会の実現を目指している。足立区入谷 8-10-29



五十嵐資源リサイクルセンターの上田靖男さん(左から3人目)、22年前から今の仕事を苦勞を重ねて作り上げました。83歳! 情熱あふれるエネルギッシュな方です!

お知らせ

SDGsシネマ「明日塾」

「杜人(もりびと)」環境再生医 矢野智徳の挑戦!

ナウシカのような人に出逢った。風のように草を刈り、イノシシのように大地を掘って環境問題の根幹に風穴を開ける奇跡のドキュメンタリー。▶2024年3月9日(土)

▶午後1:30~3:30 ▶北とぴあ6階ドームホール ▶無料 ▶先着100名